

タイの大学と教育交流の推進協定

東川町とタイ王国マハーサーラカム・ラーチャパット大学(マハーサーラカム県、ソムシヤイ・ウオンカセム学長)との間で、教育交流推進の推進、東川町立日本語学校など町内の日本語教育機関への学生派遣と東川町の受け入れに関して基本合意しました。



大学です。

基本合意に伴って、同大学では今後、町立日本語学校、町内の日本語教育機関に研修学生の派遣を検討することになりそうです。

学生、僧侶の皆さんが2陣に分かれて総勢43人が来町し、町立日本語学校の学校施設、特別養護老人ホーム・羽衣園などを視察しました。ウオンカセム学長は「特に人口の都市集中と高齢化が大きな問題」と高齢化に伴う高齢者の介護問題に大きな関心を示していました。

2月2日、役場で調印式を行いました。ウオンカセム学長夫妻、ナツシャノック・ジャンサウオン副学長、ユパボン・ユパス政治科学部兼公共管理学部長、スニット・ティームアウンサイ大学院長と大学院生僧侶ら一行14人が1月26日から2月4日まで来町。松岡市郎町長とウオンカセム学長が基本合意書を交わしました。

ラーチャパット大学は、タイ国内で教師を育成するための専門学校として発足後、大学に改組。全国に38大学あるそうです。そのうちマハーサーラカム大学はタイ東北マハーサーラカム県にあり、教育学部、科学技術学部、人文社会科学部、法律学部、エンジニア学部など9学部を擁する総合

市民後見人に菅野さん、杉本さん

町内で活動する市民後見人として、新たに町社会福祉協議会職員の菅野昌美(53歳)さんと旭川市内の施設職員、杉本栄子(65歳)さん2人が養成研修をこのほど修了し、1月22日松岡市町長が修了証書を伝達授与しました。



市民後見人に委嘱を受けた菅野さん(右)、杉本さん

任を受けることが必要です。二人はこの後、旭川家庭裁判所から選任を受けて活動する予定です。

町では旭川市と周辺8町が共同で運営している旭川成年後見センターで養成研修を実施しています。菅野さん、杉本さんは、昨年10月から研修を受けていました。町内の市民後見人養成研修修了者は、昨年選任された町社会福祉協議会の村田節子さん、金沢恵みさんに続いて4人になりました。

認知症、知的障害など判断能力が不十分な本人に代わって、同じ地域に暮らす住民が財産管理、介護契約などの法律行為を行うことを可能にする制度。本人に親族がおらず、家庭裁判所の選

雪上を疾走、スノーモービルに歓声

2月16日、道立東川養護学校小学部の子どもたちがスノーモービル遊びを満喫しました。

この時期に養護学校の児童のために毎年オープンしている1日限定のスノーモービルランド。7南区、山中仁志さん(69)の水田約5ヘクタールに特設コースを作って、毎年子どもたちを招待しています。今年は小学部38人が午前と午後2班に分かれてやって来

ました。

運転は、山中さんと理容業森本大記さん(43)、農業梶畑宏弥さん(23)の3人。子どもたちはトラックタイヤを利用して作った特製チューブのそりに乗ったり、スノーモービルの運転席でハンド



ルを握って雪の中を疾走するスピード

と快感に大喜び。

みんな何日も前からこの日を待ちかねて楽しみにしてきました。小雪が舞って氷点下7度の肌寒い小雪模様になりましたが、寒さを吹き飛ばして何回も乗り込んで歓声を上げ、楽しんでいました。